

## 蔭山 充(かげやま みつ)先生のプロフィール

- 勤務先 かげやま医院
- 経歴 京大医学部婦人科学産科学教室入局後、  
大阪市立大医学部産科婦人科学教室の講師を経て、開業。  
現在、徳島大大学院医学研究科の非常勤講師なども兼任。
- 専門 産婦人科、女性病態医学、公衆衛生学、産業医学、  
お産の歴史から始まる漢方薬



### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

約20年前に婦人科外来で、訳のわからない訴え、たとえば「のぼせ」「冷え」等の更年期の不定愁訴が、漢方書には同じ内容表現で書かれてあったことに驚きました。

### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

産婦人科から始まり、内科・皮膚科・耳鼻咽喉科等、全科をこえた女性のあらゆる不定愁訴に対して、人間が本来持っている自然治癒力を引き出す事に、漢方薬は、すぐれた効果を発揮しています。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

8:2

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

日本国の将来の存在が危ういから、日本漢方界の先行は不透明です。  
けれど、世界的に、いかに中医学が台頭しても我国のエキス剤の優秀性を外国は真似できないので、生き残れます。  
また、漢方のエビデンスは、代替医療を超えて、徐々に確立して来ると思います。

### ◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

風邪はもちろん、痛みや抗老化には効果あると思います。



◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

漢方薬には意外な効果が期待できますし、久しく病める人に夢と希望を与えられます。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

必ず自分自身の身体に合う漢方薬を見出せるので、あせらずに求めて、それらの漢方薬によって毎日若々しく元気に過ごせ、年を重ねられます。

◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

気楽に努力。

◆その他何かご意見などありましたら、お願いいたします

初心者には、各論・得意分野の漢方薬から始めるように指導しています。



注意：先生へのインタビューは、当会が2010年6月に行った内容です。